

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 02 月 10 日作成)

小委員会名	文化遺産災害対策小委員会	主 査 名：足立 裕司 就任年月：2005 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会	委員長名：吉田 鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 4 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2005 年度 1. 地域防災計画等、既存防災体制と文化遺産保存体制の協力関係の構築に向けた研究 2. 災害の特性と事前事後の対策、体制の研究から緊急マニュアルの作成へ	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	足立裕司(神戸大学) 藤田香織(東京都立大学) 稲垣景子(横浜国立大学) 後藤治(工学院大学) 西澤英和(京都大学) 長谷見雄二(早稲田大学) 花里利一(大成建設) 益田兼房(東京藝術大学) 村上裕道(兵庫県教育委員会) 村田健一(文化庁) 他	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2005 年度予算	240,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無
大会研究集会	1. パネルディスカッション「歴史的建築リストDBの活用と直面する課題」は文化遺産災害対策小委員会、及び DOCOMOMO WG と共催で企画し、主査の足立から大災害とDBの意義について報告した
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 目標の1については、地域防災計画等、既存防災体制と文化遺産保存体制の実現に向けた方向性が確認できた 2. 目標2については、緊急マニュアルの作成にむけた取組準備が整ったが、来年度に向けた集中的な作業が必要となる。
委員会活動の問題点・課題	1. 緊急マニュアルの作成については必要な経費が大きく、別途科研費等に小委員会として応募している。